

日本広告学会  
第48回全国大会ご案内  
[大会プログラム・大会参加申し込み方法]

大会統一論題  
メディア環境の現状を考える

日本広告学会第48回全国大会

立正大学 品川キャンパス

2017年10月27日(金)～29日(日)

運営委員長 立正大学 畠山仁友  
大会運営委員会事務局 立正大学 経営学部 畠山仁友研究室内  
住所：〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16  
電話：03-5487-3214(研究室直通) FAX：03-5487-3351  
E-mail：jaa2017rissho@gmail.com

## ご挨拶

10月27日(金)から29日(日)の日程で、第48回全国大会を立正大学品川キャンパスにて開催いたします。事前割引でのお申し込みは、10月13日(金)までです。

統一論題は「メディア環境の現状を考える」とし、メディア研究、広告実務、広告・マーケティング研究の視点から、デジタル技術の進展やスマートフォンなどのデバイスの進化がもたらすメディア環境の変化を捉え、広告やコミュニケーションのあり方を検討していきたいと考えています。

品川キャンパスは、山手線沿線の都内だけではなく、横浜などからもアクセスが良い立地です。昨今は都内の宿泊の予約が取りづらい状況もありますため、早めの申し込みと宿泊のお手配をお願いいたします。多くの会員のみなさまのご参加を運営委員会一同、お待ちしております。

今回も全国大会を開催するにあたりまして、公益財団法人吉田秀雄記念事業財団、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会にご支援賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

日本広告学会 第48回(2017年度)全国大会  
大会運営委員長 畠山仁友  
(立正大学経営学部)

## 1. 大会統一論題 (大会テーマ)

### メディア環境の現状を考える

## 2. 日程 2017年10月27日(金)～10月29日(日)

- ・27日(金) 午後：各種委員会、拡大常任理事会
- ・28日(土) 午前：基調講演  
午後：パネルディスカッション、プロジェクト研究報告、会員総会、懇親会
- ・29日(日) 午前：自由論題報告 午後：自由論題報告、ワークショップ

## 3. 会場

立正大学 品川キャンパス 9号館

## 4. 基調講演・パネルディスカッション

### 基調講演

#### 生態としてのコミュニケーション

みずこし しん  
講演者 水越 伸 氏 (東京大学)

1963年生まれ。東京大学大学院情報学環教授。歴史的、思想的な知見を踏まえつつ、日常世界におけるメディアと人間の関わり方を異化し、組み替えていくような実践的メディア論に取り組む。市民のメディア表現やリテラシーの実践的研究に取り組む「メルプロジェクト」「メルプラッツ」「メディア・エクスプリモ」などを展開。2014年、バイリンガルの独立雑誌『5: Designing Media Ecology』を創刊。著書に『改訂版 21世紀メディア論』(放送大学教育振興会、2014年)など。

## デジタル思考×アナログ発想 “デジログ”というコミュニケーションの突破口

きはら りゅうたろう  
講演者 木原 龍太郎 氏（株式会社博報堂）

1999年、博報堂に入社。マーケティング局、PR戦略局を経て、現在、同社統合プランニング局のチームリーダー。数々の統合コミュニケーションをディレクションする傍ら、2017年1月から博報堂が発行する季刊雑誌『広告』の編集長を兼任。“野生の直感を大切にすアナログ発想マガジン”を標榜する雑誌『広告』は、読んだら痛快な気分になれるという人と、胸ヤケが止まらないという人に二分される傾向にあり、賛否両論を巻き起こしている。

### パネルディスカッション 「メディア環境の現状を考える」

#### パネリスト

ふるかわ りゅうこ  
古川 柳子 氏（明治学院大学）

明治学院大学文学部芸術学科（芸術メディア論コース）教授。1979年、慶応義塾大学文学部卒業。テレビ朝日入社。「ニューステーション」「ザ・スクープ」などの報道番組のディレクター・プロデューサーを経て、2000年以降はデジタル編成部長、総合情報システム局長、クロスメディア編成局長などを歴任。2012年より業務の傍ら東京大学大学院学際情報学府に入学（博士課程満期退学）。メディア論の観点から、個人のメディア表現や「マス」がコミュニケーションする時代のメディア生態系の在り方を研究領域とする。2012年より現職。

みづこし こうすけ  
水越 康介 氏（首都大学東京）

2005年、神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、博士（商学）。2005年、首都大学東京都市教養学部経営学系研究員を経て、2007年より同大学院ビジネススクール准教授。また2012年より株式会社碩学舎取締役。

専門はマーケティング、デジタル・マーケティング。主な著書として、『ある日の午後のマーケティング授業の風景』（共著、有斐閣、2015年）、『本質直観』のすすめ』（単著、東洋経済新報社、2014年）、『新しい公共・非営利のマーケティング』（共編著、碩学舎、2013年）、『ネット・リテラシー』（共著、白桃書房、2013年）など。近刊に『マーケティングをつかむ 新版』（共著、有斐閣、2018年）、『ソーシャルメディア・マーケティング入門』（単著、日本経済新聞社、2018年）。

きし しずえ  
岸 志津江 氏（東京経済大学）

国際基督教大学教養学部卒業。米国イリノイ大学大学院コミュニケーションズ・リサーチ研究科博士課程修了(Ph.D. in Communications)。名古屋市立大学経済学部教授等を経て、1998年より東京経済大学経営学部教授。日本広告学会会長（2010～2015年度）、日本消費者行動研究会会長（1996年度）。『現代広告論（第3版）』（共編著、有斐閣、2017年）、『戦略的マーケティング・コミュニケーション—IMCの理論と実際』（J.R.ロシター&S.ベルマン著、監訳、東急エージェンシー、2009年）などの著書・翻訳書の他に、Journal of Advertising Research, Journal of Marketing Research, 『広告科学』、『消費者行動研究』、『日経広告研究所報』、『マーケティング・ジャーナル』などに論文や書評が掲載されている。

木原 龍太郎 氏（株式会社博報堂）

解題・進行 畠山 仁友（立正大学）

## 5. 大会プログラム

### 【1日目：10/27（金）】

受付：1号館 1階 第3会議室前

	1号館 1・4階			
	第7会議室B	第3会議室	第4会議室	第7会議室A
14:00 ～ 16:00	休憩室	各種委員会		学会賞委員会
16:00 ～ 18:00	理事会			

### 【2日目：10/28（土）】

受付 9:00～：9号館 B2階 9B23教室前／休憩室：9号館 B1階 9B16教室

会場	9号館 B2階 9B23教室
9:30 ～ 9:35	開会挨拶 畠山仁友（第48回全国大会運営委員長／立正大学）
9:35 ～ 9:45	会長挨拶 日本広告学会 会長 嶋村和恵（早稲田大学）
	（休憩）
9:50 ～ 10:50 （質疑応答10:40～10:50）	基調講演① 生態としてのコミュニケーション 水越伸氏（東京大学）
10:55 ～ 11:45	基調講演② デジタル思考×アナログ発想 “デジログ”というコミュニケーションの突破口 木原龍太郎氏（博報堂）
	昼食
13:00 ～ 15:00	パネルディスカッション メディア環境の現状を考える  パネリスト 木原龍太郎氏（博報堂）／古川柳子氏（明治学院大学） 水越康介氏（首都大学東京）／岸志津江氏（東京経済大学） 解題・進行 畠山仁友（立正大学）
	休憩
15:10 ～ 15:40	プロジェクト研究報告（萌芽研究） 拡張現実（AR）技術による情報提供が情報検索や記憶に与える影響に関する実験 吳伽科（近畿大学大学院）・大内秀二郎（近畿大学）
15:45 ～ 16:45	プロジェクト研究報告（自由課題研究） 危機対応広告が謝罪と信頼回復に与える効果 畠山仁友（立正大学）・大瀬良伸（東洋大学）・武谷慧悟（早稲田大学大学院）
	休憩
17:00 ～ 18:15	会員総会
	移動・休憩
18:30 ～ 20:30	懇親会 （会場：立正大学 6号館 1階 学生食堂）

【3日目：10/29（日）】

受付 9:00～：9号館 3階 931教室前／休憩室・昼食会場：9号館 3階 931教室

	9号館 3・4階		
	932教室	933教室	942教室
	自由論題報告		
9:30～10:00	<p>司会：嶋村和恵</p> <p>アンバサダー顧客の推奨を促す要因に関する研究 -アンバサダー・プログラムにおける調査より-</p> <p>藤崎実(アジャイルメディア・ネットワーク)</p>	<p>司会：山崎方義</p> <p>視覚障害者に資する、よりわかりやすい「手で触って観る広告」の開発・制作。</p> <p>安田輝男(筑波技術大学)</p>	<p>司会：川村洋次</p> <p>デジタル環境下におけるマーケティング・コミュニケーション戦略の現状と課題</p> <p>朴正洙(駒澤大学)</p>
10:00～10:30	<p>クチコミでのブランド推奨促進のための管理指標の検討</p> <p>宇賀神貴宏(アサツーディ・ケイ)</p>	<p>コンシューマー・インサイト発見のための方法論的考察 -バースとホワイトヘッドを参考にして-</p> <p>小泉秀昭(立命館大学)</p>	<p>人工知能がもたらす広告の信頼性回復 -「アド・フラウド」対策の可能性-</p> <p>植田康孝(江戸川大学)</p>
10:30～11:00	<p>司会：坂井直樹</p> <p>ソーシャルメディアのマーケティング活用におけるWOMJガイドラインの役割と改定の方向性の検討</p> <p>井上一郎(江戸川大学)</p>	<p>司会：伊吹勇亮</p> <p>広告主側におけるクリエイティブ・マネジメントの現状と課題 -デジタルシフト&amp;ソーシャルシフトを背景として-</p> <p>佐藤達郎(多摩美術大学) 藤居誠(多摩美術大学)</p>	<p>司会：松隈久昭</p> <p>AIで広告はどうに進化・発展するか</p> <p>進藤美希(東京工科大学) 松本敦実(日経広告研究所) 土山誠一郎(日経広告研究所)</p>
11:00～11:30	<p>ブランドコミュニケーションにおける C to C コミュニケーションの果たす役割 -トリプルメディアの観点からの考察-</p> <p>青木慶(大阪女学院大学)</p>	<p>日本のクリエイティビティと欧米のクリエイティビティ -広告クリエイティブ開発プロセスを中心とした分析-</p> <p>村尾俊一(戦略プランニング研究所)</p>	<p>広告コミュニケーションとブランディングについて -美学的視点をを用いた分析と考察-</p> <p>谷口光子(日本大学芸術学研究所)</p>
11:30～12:30	<p>943教室</p> <p>ワークショップ①</p> <p>論文執筆にかかわる研究倫理</p> <p>広瀬盛一(東京富士大学)ほか</p>		
11:30～13:00	<p>昼食</p>		
	<p>自由論題報告</p>		
13:00～13:30	<p>司会：水野由多加</p> <p>情報価値志向の視点から広告モデルの可能性を考察する -22メディア群のメディア・フォロー行動とメディアへの期待の関係性分析-</p> <p>坂井直樹(日経広告研究所)</p>	<p>司会：岸志津江</p> <p>テレビ広告における外国イメージの変容</p> <p>ピヤ・ボンサビタックサントイ(京都産業大学)</p>	<p>司会：佐藤達郎</p> <p>BtoB企業における企業広告の研究</p> <p>山崎方義(愛知産業大学)</p>
13:30～14:00	<p>日本の広告教育のあり方を考える -人的資源管理システムとの整合性の観点から-</p> <p>伊吹勇亮(京都産業大学)</p>	<p>アニメーション映画のプロダクト・プレイスメント -広告会社とアニメ・プロデューサーとの協業可能性-</p> <p>森川美幸(青山学院大学)</p>	<p>民間企業が行う復興支援活動と「復興感覚」に関する研究 -東北復興協賛プラットフォーム「東北六魂祭」の事例を中心に-</p> <p>梅田悟司(電通)</p>
14:00～14:30	<p>アクティブ・ラーニングにおけるメディア活用</p> <p>長尾晃宏(名城大学)</p>	<p>新聞広告における提示形態や提示情報の効果</p> <p>奥村孝(筑波大学大学院) 西尾チツル(筑波大学)</p>	<p>-</p>
	<p>休憩</p>		
	<p>9B23教室</p>		
14:40～15:40	<p>ワークショップ②</p> <p>テクノロジーの進化と広告 -広告学会に求められること-</p> <p>佐々木淳氏(AOI TYO Holdings)／谷田泰郎氏(シナジーマーケティング)</p> <p>モデレーター 川村洋次(近畿大学)</p>		
15:40～15:50	<p>閉会挨拶</p> <p>日本広告学会 副会長 水野由多加(関西大学)</p>		

※ワークショップ①はランチミーティングの形式です。参加される方はお弁当や軽食をご持参の上、ご参加ください。

## 6. 参加申し込み方法

### (1) 正会員・名誉会員のお申し込み

この通信に同封されている「払込取扱票」を用いて、「大会参加費等」をご参照の上、該当する参加費等を払い込んでください。その際、「払込取扱票」の通信欄に明細をご記入ください。参加費の払い込みをもって参加登録の手続完了といたします。

なお、10月13日(金)までに払い込みいただく場合と10月14日(土)以降に払い込みいただく場合で、参加費が異なりますのでご注意ください。

また、大学院生(博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む)の正会員は、参加費が割引になります。当日、必ず学生証を持参してください。

### (2) 賛助会員のお申し込み

ご担当者は別紙「参加者名簿」に必要事項を記入し、大会運営委員会事務局までメールまたはFAXでご提出ください。詳しくは別紙「【賛助会員用】全国大会参加申し込み方法のご案内」をご覧ください。「参加者名簿」のWordファイルが必要な方は、大会運営委員会事務局までお問い合わせください。

**※賛助会員社にご所属の個人会員は、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。**

### (3) 非会員のお申し込み

大会運営委員会事務局までメールでご連絡ください。なお、非会員の参加費には事前割引が適用されません。学部生、会員家族は無料でご参加いただけますが、資料は有料です。

### (4) 会費について

お振込いただいた会費につきましては、いかなる理由であっても返金はいたしかねます。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

### (5) 昼食について

28日(土)、29日(日)の両日とも昼食のお弁当は手配いたしません。五反田駅、大崎駅方面の徒歩5分圏内に多数の飲食店、大学隣にコンビニエンスストアもございます。そちらをご利用ください。

〈大会参加費等〉

10月13日（金）までに払い込みの場合

参加者	大会参加費	懇親会費10/28(土)	資料の追加
正会員・名誉会員	¥5,000	¥5,000	¥2,000 (1部)
正会員（大学院生）	¥2,500		
賛助会員（1～3人）	無料		
賛助会員（4人目～）	¥5,000		
非会員（一般）	¥7,500		
非会員（学部生・会員家族）	無料		

10月14日（土）以降に払い込みの場合および当日受付

参加者	大会参加費	懇親会費10/28(土)	資料の追加
正会員・名誉会員	¥7,500	¥5,000	¥2,000 (1部)
正会員（大学院生）	¥3,500		
賛助会員（1～3人）	無料		
賛助会員（4人目～）	¥7,500		
非会員（一般）	¥7,500		
非会員（学部生・会員家族）	無料		

※大学院生（博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む）の正会員は、参加費が割引になります。学生証の提示が条件となりますので、大会当日に必ず持参してください。

※賛助会員社にご所属の個人会員には、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。

## 7. 交通アクセス

J R 山手線・J R 湘南新宿ライン・J R 埼京線・りんかい線「大崎駅」から徒歩 5 分

J R 山手線・都営浅草線「五反田駅」から徒歩 8 分

東急池上線「大崎広小路駅」から徒歩 1 分



## 8. 第 48 回 (2017 年度) 全国大会運営委員会

### 運営委員

- ・委員長 畠山仁友 (立正大学)
- ・副委員長 石崎徹 (専修大学)
- ・委員 久保田進彦 (青山学院大学)、広瀬盛一 (東京富士大学)、松本大吾 (千葉商科大学)、土山誠一郎 (日経広告研究所)
- ・実行委員 上原拓真 (クオインタム)、武谷慧悟 (早稲田大学)

### 事務局

立正大学 経営学部 畠山仁友研究室内

住所：〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

電話：03-5487-3214(研究室直通)

FAX：03-5487-3351(学部事務室共有)

E-mail：jaa2017rissho@gmail.com

- ・大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお願いいたします。
- ・研究室を不在にすることが多いため、できる限りメールで頂ければ幸いです。